

=====  
統計メールニュースNo.1136(2019.4.26)

このメールは、配信登録された方に無料で送信しています。

=====  
【本日の公表データ】

■労働力調査(基本集計:2019年3月分)

- 就業者数は6687万人と、1年前に比べ67万人の増加。75か月連続の増加。
- 完全失業者数は174万人と、1年前に比べ1万人の増加。2か月ぶりの増加
- 完全失業率(季節調整値)は2.5%と、前月に比べ0.2ポイントの上昇。

<https://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/tsuki/index.html>

■労働力調査(基本集計:2018年度平均)

- 完全失業率は2.4%と、前年度に比べ0.3ポイントの低下。

<https://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/nendo/index.html>

■消費者物価指数(東京都区部:2019年4月中旬速報値)(2015年=100)

- 総合指数は101.8と、1年前に比べ1.4%の上昇。季節調整値は、前月に比べ0.3%の上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数は101.7と、1年前に比べ1.3%の上昇。季節調整値は、前月に比べ0.2%の上昇。
- 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は101.8と、1年前に比べ0.9%の上昇。季節調整値は、前月に比べ0.2%の上昇。

<https://www.stat.go.jp/data/cpi/sokuhou/tsuki/index-t.html>

【お知らせ】

■統計 Today No.144 本日掲載

(統計 Today は、統計をめぐる新しい動きやメッセージをお届けするものです)

消費者物価でみる平成 デフレの背景について考える

「平成」の時代の終わりが近づいてきました。平成を象徴するキーワードの1つとして思い浮かぶのは、持続的な物価の下落を意味する「デフレ」です。本稿では、月例経済報告におけるデフレに関する記載の変遷等を踏まえ、平成期を(1)「デフレ前の時代」、(2)「デフレの時代」、(3)「デフレ脱却に向かう時代」の3つの時代に分け、(2)の「デフレの時代」を中心に消費者物価の動きを見てみます。

<https://www.stat.go.jp/info/today/144.html>

=====  
□調査へのご理解・ご協力をお願いします。

ーみんなの暮らしを支える統計調査ー (広報動画)

[https://www.youtube.com/watch?v=vQ3BtX\\_D4bs](https://www.youtube.com/watch?v=vQ3BtX_D4bs)

=====  
配信先の変更・配信中止など

<https://www.stat.go.jp/info/mail/index.html>

ご意見、ご感想、配信に関するお問合せなど

[stat\\_m-news@soumu.go.jp](mailto:stat_m-news@soumu.go.jp)

※統計データの入手先に関する問い合わせ、統計調査に関するQ&A

<https://www.stat.go.jp/training/toshokan/faq.html>  
=====

このメールにお心当たりがない方は, 大変お手数ですが下記までご連絡ください。  
総務省統計局統計情報利用推進課

[stat\\_m-news@soumu.go.jp](mailto:stat_m-news@soumu.go.jp)